

1. 琵琶湖および河川の水生生物の生息状況調査費

1) 琵琶湖および河川の水生生物の生息状況調査

水産試験場全員調査・〔総括〕高橋 誓・〔副総括〕山中 治・
〔各水域別調査リーダー〕藤原公一・井出充彦・吉岡 剛

【背景・ねらい】社会情勢の急激な変化にともない、近年生態系の保全問題が大きくクローズアップされている。水産業においても有用な水産資源が減少する等、生態系の変化に関わる大きな問題が生じている。このため琵琶湖および河川等県下水域の魚類および甲殻類（エビ類・カニ類）の現時点での生息状況を一斉調査し、諸施策の基礎資料とする。

【成果の内容・特徴】調査地点は滋賀県を5ブロックに分け、各ブロックごとに琵琶湖沖合・沿岸帯、河川上流・中流・下流、内湖について計42地点を設定した。琵琶湖においては年4回、内湖、河川においては年2回を目標に調査を実施中である。

採集方法は、琵琶湖においては、沖合は漁船による底曳き網、沿岸帯は小型底曳き網と小型定置網を主に使用し、さらにエリ漁業者からのサンプル調査を行った。内湖においては小型定置網、河川においてはエレクトリック・ショッカーを主に使用した。

滋賀県水産試験場による1951年の琵琶湖水産調査報告をはじめとし、1993年までの各試験研究場所および研究者による県下の水生生物の生息に関する報告書によると、琵琶湖および県下河川で生息の確認された魚類は70種類（亜種を含む）、甲殻類（エビ類・カニ類）は7種類である。

今回の調査（1994年度）で現在までに滋賀県下で生息の確認できた魚類は64種類（このうち、ソウギョ、ハクレン、シロヒレタビラ、ビワコオオナマズ、イワトコナマズは1994年度中に漁獲されたことを漁業者から確認、ハリヨは醒井養鱒場の調査で確認）で、生息の確認できなかった魚類はヤマメ、カワバタモロコ、アオウオ、カワヒガイ、ニッポンバラタナゴ、アユモドキの6種類であった。このうちアオウオ、ニッポンバラタナゴ、アユモドキについては、1991年の時点で生息確認ができない魚類といわれている。このほかガーパイク、ナイフフィッシュといった熱帯魚2種類が漁業者から持ち込まれた。甲殻類（エビ類・カニ類）は6種類の生息が確認され、タンカイザリガニの生息が確認できなかった。ヤマメとタンカイザリガニは県下の特定地域にのみ生息しており、本年度はその地域の調査は行っていない。

本調査から得られる生息状況の詳細や生態系の新たな変化、留意すべき事項等については、各水域の調査リーダーの検討をもとに、総合的な考察を行い、後日報告する。

【成果の活用面・留意点】次年度に計画している「琵琶湖沿岸帯調査（水底質環境、水生植物、底生生物等の調査）」結果も併せ、漁業活動の基盤となる琵琶湖等県下水域の生態系の現況および環境と生物あるいは生物相互間の関係等を明確にすることにより、今後の

1995年3月現在確認された水棲生物

魚類	河川	内湖琵琶湖			魚類	河川	内湖琵琶湖				
		上流	中流	下流			沿岸帯	エリ	沖合		
ヤツメウナギ科	1 スナヤツメ	●	●	●	38 ゲンゴロウブナ	●	●	●	●	△	●
ウナギ科	2 ウナギ	●	●	●	39 ギンブナ	●	●	●	●	●	●
キュウリウオ科	3 ワカサギ	●	●	●	40 ヤリタナゴ	●	●	●	●	●	●
サケ科	4 アユ	●	●	●	41 アブラボテ	●	●	●	●	●	●
	5 イwana	●	●	●	42 タイリクバラタナゴ	●	●	●	●	●	●
	6 ニジマス	●	●	●	43 ニッポンバラタナゴ	●	●	●	●	●	●
	7 ヤマメ	●	●	●	44 イチモンジタナゴ	●	●	●	●	●	●
コイ科	8 アマゴ	●	●	●	45 シロヒシタビラ	●	●	●	●	●	●
	9 ビワマス	●	●	●	46 カネヒラ	●	●	●	●	●	●
	10 カワムツ	●	●	●	47 アユモドキ	●	●	●	●	●	●
	11 オイカワ	●	●	●	48 ドジョウ	●	●	●	●	●	●
	12 ハス	●	●	●	49 スジシマドジョウ	●	●	●	●	●	●
	13 カワバタモロコ	●	●	●	50 シマドジョウ	●	●	●	●	●	●
	14 ウグイ	●	●	●	51 アジメドジョウ	●	●	●	●	●	●
	15 アブラハヤ	●	●	●	52 ホトケドジョウ	●	●	●	●	●	●
	16 タカハヤ	●	●	●	53 ギギ	●	●	●	●	●	●
	17 ソウギョ	●	●	●	54 アカザ	●	●	●	●	●	△
18 アオウオ	●	●	●	55 ナマズ	●	●	●	●	●	●	
19 ワタカ	●	●	●	56 ビワコオオナマズ	●	●	●	●	●	△	
20 ハクレン	●	●	●	57 イワトコナマズ	●	●	●	●	●	△	
21 タモロコ	●	●	●	58 メダカ	●	●	●	●	●	●	
22 ホンモロコ	●	●	●	59 ハリヨ	△	●	●	●	●	●	
23 ムギツク	●	●	●	メダカ科	●	●	●	●	●	●	
24 モツゴ	●	●	●	トゲウオ科	●	●	●	●	●	●	
25 カワヒガイ	●	●	●	クワダシヨ科	●	●	●	●	●	●	
26 ビワヒガイ	●	●	●	バス科	●	●	●	●	●	●	
27 アブラヒガイ	●	●	●	60 カムルチー	●	●	●	●	●	●	
28 カマツカ	●	●	●	61 オオクチバス	●	●	●	●	●	●	
29 ツチフキ	●	●	●	62 ブルーギル	●	●	●	●	●	●	
30 せぜら	●	●	●	63 ドンコ	●	●	●	●	●	●	
31 スゴモロコ	●	●	●	64 ヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	
32 デメモロコ	●	●	●	65 カワヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	
33 イトモロコ	●	●	●	66 ヌマチチブ	●	●	●	●	●	●	
34 ニゴイ	●	●	●	67 イサザ	●	●	●	●	●	●	
35 スナガニゴイ	●	●	●	68 ウキゴリ	●	●	●	●	●	●	
36 コイ	●	●	●	69 カジカ	●	●	●	●	●	●	
37 ニゴロブナ	●	●	●	70 ウツセミカジカ	●	●	●	●	△	●	
				71 熱帯魚等	●	●	●	●	△	●	

甲殻類	河川	内湖琵琶湖		
		上流	中流	下流
ヌマエビ科	1 ヌマエビ	●	●	●
テナガエビ科	2 テナガエビ	●	●	●
	3 スジエビ	●	●	●
ザリガニ科	4 タンカイザリガニ	●	●	●
	5 アメリカザリガニ	●	●	●
サワガニ科	6 サワガニ	●	●	●
イワガニ科	7 モクズガニ	●	●	●
その他	8 その他	●	●	●

備考 1 ●：水試調査で確認されたもの
 △：水試調査以外で確認されたもの（聞き取り含む）
 2 フナ類中種魚のため種類の同定が困難であったものは記入していない